

▼カーバグル分散錠 [内]

【重要度】★ 【一般製剤名】カルグルミン酸 Carglumic Acid 【分類】高アンモニア血症治療剤

【単位】▼200mg/錠

【常用量】100～250mg/日より開始, 1日2～4回に分け,, 用時水に分散して経口投与 [適宜増減]

高アンモニア血症が悪化した場合は適宜増量

【用法】1日2～4回分割・可能な限り食前に投与

1錠あたり2.5mL以上の水で分散

光を避けた状態でボトルごと交付

【透析患者への投与方法】開始量を15～40mg/kg/日を目安に減量し適宜調節 (1)

【保存期CKD患者への投与方法】eGFR30～59:50～125mg/kg/日, eGFR<30:15～40mg/kg/日を目安に開始 (1)

【特徴】N-アセチルグルタミン酸合成酵素 (NAGS) 欠損症および有機酸代謝異常症における高アンモニア血症の改善に用いる。N-アセチルグルタミン酸 (NAG) 類似体で、カルバミルリン酸合成酵素I (CPS I) 活性化し尿素サイクルを賦活化することで窒素を処理

【主な副作用・毒性】精神・神経障害, 味覚異常, 多汗症, 頭痛, 消化器症状など

【安全性に関する情報】

【F】10%程度と推測 (5)

【tmax】3hr (1)

【代謝】ほとんど代謝されないとされる (1)

【排泄】尿中未変化体排泄率9%以下 [po], 80% [iv] (1)

【CL】腎CL295mL/min (1)

【t1/2】6hr (1)

【蛋白結合率】資料なし (1)

【Vd】2.7L/body (1)

【MW】190.15

【透析性】資料なし (1) タンパクに結合してはいなければ除去されるとされる (5)

【O/W係数】

【主な臨床報告】アルギニノコハク酸合成酵素欠損症への使用経験 (Kose E, et al: J Clin Pharm Ther 2018 PMID: 28741715)

開発と臨床応用に関するレビュー (Daniotti M, et al: Int J Gen Med 2011 PMID: 21403788)

【更新日】20251225

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。